

コース内容

縄文杉トレッキングコース(往復約22km・高低差約700m)

対象年齢: 10歳~70歳

難易度: ★★★★★

※3月1日~11月30日は荒川登山口までの車両通行規制期間となります。屋久杉自然館にて荒川登山バスに乗り換えます。

◆行程表

登山バス料金 お一人様往復大人1,400円・小人700円は各自ご負担となります。

日次	行程表	食事
1	ホテル====荒川登山口・・・トロッコ道・・・小杉谷・・・三代杉・・・大株歩道入口・・・ウィルソン・・・大王杉・・・ 4:30頃 トイレ 給水 トイレ・給水 給水 トイレ ←この間にトイレ→ (携帯用ブース) 夫婦杉・・・・・・縄文杉付近にて昼食・・・・・・往路を戻りホテルへ 12:00頃 18:00頃	朝・弁当 昼・弁当

トロッコ道・・・荒川登山口を出て少し歩いた所から続く「トロッコ道」と呼ばれる運搬車両の軌道。大株歩道入口まで約8kmに及びます。
 小杉谷・・・大正12(1923)年から昭和45(1970)年にかけて行われた杉の伐採で栄えた集落跡。最盛期には133世帯が暮らしていました。
 三代杉・・・3本の杉が折り重なるように生育した杉。初代は樹齢2000年で倒木、その上に育った二代目は樹齢1000年で伐採、さらにその上に樹齢350年の三代目が育っています。

大株歩道入口・・・トロッコ道の終点、また山道となる分岐点。休憩場所とトイレがあります。給水もできます。

翁杉・・・推定樹齢2000年の名木も2010年9月倒木。現在は幹折れの姿。倒木前は屋久杉の中で太さが2番目の巨木。

ウィルソン株・・・植物学者アーネスト・ウィルソン博士が世界へ向け発表。ハート型の切り株が幻想的。

大王杉・・・縄文杉が発見されるまで屋久杉最大とされていました。樹高24.7m。

夫婦杉・・・2本の杉が手を取り合う夫婦のような姿で、枝が融合して成長した杉。向かって右は夫、左が妻になります。

縄文杉・・・推定樹齢は2190年~7200年と言われています。樹高25.3m、胸高周囲16.4m。現在確認される中で最大の屋久杉。

雨具は必需品！

持ち物: リュックサック・上下の雨具・登山靴・お弁当(朝・昼)・水筒・軍手・
 タオル・懐中電灯・行動食・着替え(シャツ、靴下、軍手など)

ご案内

両手を使えるようになるべく安定性の高いリュックサックをご用意下さい。
 水分は500ml程度でも水場が多いので大丈夫です。
 その他、飴やチョコレートなどすぐに糖分が補給できるようにご準備されたほうが良いです。
 雨具(ウィンドブレーカーはNG)は上下別の防寒になるもの、
 服は綿より化繊の速乾性のあるもの、ズボンは動きやすいジャージがおすすめです。
 Gパンは汗をかいたり、濡れたりすると硬くなり動きにくくなるため、登山には不向きです。
 天候・道路状況により、コース及び内容が変更になる場合や、催行中止となる場合がございます。
 屋久島町では「山岳部環境保全協力金(1,000円)」の納入をお願いしております。

注意

当日の集合時間(お迎え時刻)等のご案内がございますので屋久島に到着されましたらガイド会社の営業時間内にご連絡をお願い致します。

レンタル用品のお申込みは、お客様ご自身でレンタル業者へお問い合わせください。